



林ぶどう研究所便り

2021

今年も林ぶどう研究所のぶどうをご注文くださり、誠にありがとうございます。今年は、1月に娘が誕生し、スタッフにも新たなメンバーが加わりました。相変わらず品種おバカの夫に振り回されながら（笑）スタッフと応援して下さる皆さんの温かい支えのおかげで、どうにかこうにかやっているはやぶ（林ぶどう研究所）なのでした～

林ぶどう研究所の人たち

（畑チーム）

林慎悟（研究員）：相変わらず品種改良に夢中で、今年新たに2つ大きな挑戦をしています。←この挑戦のために法人化しました！

①「おかやま葡萄酒園」という一般社団法人を、世界的に有名な自然派ワイン醸造家の大岡弘武さんと共に立ち上げました。簡単に言うとワイン造りや農業に関心を持つ人が集まり、共同でブドウを栽培し、ワイン造りを行う事業です。岡山の耕作放棄地を活用し、またワイン用の品種には、研究員が品種改良した病気に強く有機栽培にも耐えうる新品種を使っています。

②日本とニュージーランド双方でぶどうの栽培を行っている会社と提携して、なんとニュージーランドでも品種改良にチャレンジしようとしています。

みえさん（ぐれーぶ娘）：研究所で早3年目に突入！畑作業から出荷までなんでもこなし、その仕事の丁寧さはいつも周りを感動させます。一見おとなしそうに見えますが、内なる情熱は半端ない。嫁から見ると、最近は夫をぬいて一番ぶどう愛に溢れているのではないかと？と思う一面も。いつもいつも助けられているはやぶの影の力持ちです。

坂本さん：研究所の近所で、ぶどう農家として就農を目指されています。研修生として今年研究所に来てくださいました。飲み込みが早く、とても器用で、その仕事の速さには研究員もびっくりしていました。元料理人さん。きっと素晴らしい葡萄の作り手になること間違いなし！

藤原さん：ワイン造りを志す若者。サッカー留学経験もあり、サッカーの腕前はプロ並。今年畑作業を手伝ってくれました。少し天然！？ですが、いつも一生懸命で爽やかな好青年です。

大谷さん：いつも明るく、元気で笑顔が素敵な女性です。土いじりや植物が大好きで、ボランティアとして畑を手伝ってくださっています。草抜きをテキパキとこなして下さるのおかげで、今年は畑がとても綺麗！

（畑外チーム）

ぼんちゃん：はやぶの取締役。東京大学・大学院を卒業後、リーマン・ブラザーズ証券に勤め、帰郷して『四国食べる通信』を創刊！というすごい経歴の持ち主。ご家族で来園時に、愛息子&娘ちゃんがはやぶのマスコットに就任。その後神戸大学での研究の傍ら、はやぶ取締役に。「土・太陽以外で、農業に大きな変化をもたらすことができるのは品種！イノベーションの源泉！」と研究員の育種を様々な面でサポートくださっています。食・農業に関わる全ての人を明るい気持ちにさせてくれる超ナイスガイです！

かおりん：はやぶの写真を撮影して下さるカメラマン。自然と果物大好き。ジバングは別格に美味しい！と研究員を喜ばせてくれます。温厚でほんわかしながら、持ち前のセンスと頭の良さで写真以外の様々なはやぶの課題も一緒に考えてくれるアドバイザーです。



嫁：最近の愛読書は、「夫のトリセツ～それでも夫をあきらめない～」 「アングーマネージメント」（笑）

さっちゃん（女兒）：現在、ダチョウと髪型がお揃いです。はやぶの癒やし顧問。

はやぶマスコットキッズ

今年のぶどう&畑について研究員よりひとこと

今年は春先から天気が安定せず、心配が続きましたが、上記のメンバーたちに助けられ、適切なタイミングできちんとぶどうのお手入れができたことで、よい仕上がりになったのではないかと思います。毎年まったく同じようには仕上がらないところが難しいところでもありながら、工業製品とはひと味違う植物の面白さでしょうか。今年のぶどうたちとの一期一会をお楽しみいただけますと嬉しいです！いつも応援して下さり、ありがとうございます 林 慎悟